

北リアスの風

2017年
冬号

地域医療福祉連携
室長から

1

2

TOPICS1

久慈医学談話会主催
健康講演会について

TOPICS2

介護出張相談窓口について

3

TOPICS3

医師の交代について

4

地域医療福祉連携室長から

副院長兼地域医療福祉連携室長
三浦 一之

1



昨今、少子高齢化に対応すべく医療・介護制度改定が進められております。久慈医療圏の高齢化率は既に全国平均の2040年の人口分布率に到達しているようです。全国的には高齢者の増加、看取りの増加に対応すべく地域包括ケアシステムが推奨され、在宅医療、訪問看護、そして地域医療構想による病床の機能分化が検討されてきております。

当院は高次救命救急センターを併設しながら、既に回復期リハビリテーション病棟を持ち、脳卒中・整形外科（股関節・膝）に関しては急性期から回復期まで一貫した診療体制を敷いてきておりました。医療構想上は当地域では急性期病床が過剰となり、回復期機能が不足することが指摘されております。

当院に併設しております現状の回復期リハビリテーション病棟は入棟には、保険診療上、入棟患者には疾病制限があり、脳卒中は全て入れますが、整形外科は股関節・膝関節の疾病に制限され、上肢や下腿・足関節は対象外です。また、更にその他の疾病での回復期機能としては、内科疾病や整形外科以外の外科疾患の術後等も在宅に向けての回

復を担う病棟機能が不足している、という指摘であります。これに対応すべく、平成28年10月より柴田副院長を委員長とし地域包括ケア病棟検討委員会を立ち上げ、当院での需要、ならびに運用するに当たって要求される在宅退院率や看護必要度、リハビリの必要人員等々の検討を始めております。

平成28年度診療報酬改定にて地域包括ケア病棟の基準が幾分緩和され、手術が可能になった点等も考慮し、一病棟を地域包括ケア病棟としての運用を想定した検討を医事経営課、地域医療福祉連携室並びに退院支援看護師長等らと共に開始しております。

地域包括ケア病棟では緩和の機能も発揮出来る点等、当院で不足している様々な病床機能を引き受けられる可能性を見出しており、院長の指揮の下、年度末までの結論を目指しております。急性期のダウンサイジングを如何にスムーズに進めるかは、当院に課せられた大きな課題の一つであります。現時点ではベッド数の削減を伴わずに、運用の変更のみで急性期を減らし、回復期機能の病床に転換することによる対応により、刻々と変化している地域のニーズに合った病院運営を心掛けての取り組みであります。

今後とも、当院の運営に関しましては、忌憚のないご意見を室長までお寄せ頂き、ご指導のほどお願いいたします。

2

TOPICS1

久慈医学談話会主催
健康講演会について

事務局次長兼地域医療福祉連携室次長

加藤 吉彦

(久慈医学談話会事務局担当)

久慈医学談話会は、久慈保健医療圏における地域医療の基盤整備と各医療関係機関のより良い連携を目的として、医師会、歯科医師会、薬剤師会、保健所、市及び久慈病院で組織され、平成8年から住民を対象とした医学に関する講演会や地域における健康講演会を開催しています。

今年度は昨年7月27日に久慈市アンバーホールで第33回市民公開健康講演会を開催し、当院の溝部宏毅総合診療科長が「漢方で健康に」、久慈薬剤師会の新淵宏相談役が「お薬の飲み方と健康食品について」と題して講演を行い、96名の皆さんに参加していただきました。



市民公開健康講演会で講演する溝部総合診療科長

また、巡回講演会は、「白内障」をテーマに昨年10月から11月にかけて久慈市、洋野町、野田村、普代村の4会場で研修医、視能訓練士、薬剤師、看護師が講演し、夕食時にもかかわらず計152名の皆さんに参加していただきました。



久慈市「元気の泉」で行われた巡回講演会

今後は第34回市民公開健康講演会を2月15日(水)13時30分から久慈市アンバーホールで、当院の新山正展循環器科長から「心筋梗塞のはなし」、国民健康保険山形診療所の吉田順子副所長から「アレルギーって? = 成人気管支喘息を中心に =」と題して講演を行う予定になっています。

久慈医学談話会の活動は関係各機関のご協力によりこれまで20年以上にわたり継続して行われてきたもので、今後も地域の皆さんの健康に関する身近なテーマを題材とした講演会を開催していきたいと考えています。

TOPICS

地域医療福祉連携室長から
久慈医学談話会主催健康講演会について
介護出張相談窓口について
医師の交代について

くじ病院広報 NO.4

北リアスの風

3

TOPICS2

介護出張相談
窓口について

当院では、平成27年12月より、週に1回、久慈市地域包括支援センターに出張相談窓口を開設して頂き、主に入院患者さんの退院後の介護に関する相談について、専門機関へのアウトソーシングを試みています。

日時 毎週水曜日 10時～14時（12時～14時は予約のみ）
場所 病院内1階 地域医療福祉連携室（医療相談室）
機関 久慈市地域包括支援センター
同センターランチ社協
（久慈市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所）



窓口が開設されてから1年が経過したところですが、毎回1～3件、1件あたり30～60分程度の相談に対応して頂いています。病院内において要介護認定の申請を受け付けて頂けるとともに、病室訪問や当院スタッフとの情報共有に基づく患者さんやご家族の状況に応じて、介護保険サービスの利用を見込んだ早期からの相談に対応して頂き、当院では、入院患者さんの退院支援のみならず、外来患者さんの療養環境の整備においても、とても有意義な機会となっています。

4

TOPICS3

医師の交代について

肥田親彦循環器科長が盛岡赤十字病院に転出され、平成28年12月1日から新山正展循環器科長が赴任されましたのでお知らせいたします。

循環器科長 新山 正展



12月より久慈病院へ戻って参りました。育てていただいた環境に赴任し嬉しく思います。久慈市民の皆様の健康を支えられるよう精進致します。よろしくお願いいたします。

北リアスの風

2017年
冬号